

環境省
国立公園利用拠点魅力向上検討会

国立公園における宿泊施設の
種別とその役割

2023年5月18日（木）

アルパインツアーサービス株式会社

代表取締役社長 芹澤健一

アルパインツアーサービス株式会社

Alpine Tour Service Co., Ltd.

Since 1969



1971
クumbu山群の秀峰アマダブラム（6,812m）を正面に、エベレスト街道をトレッキング



1978
ブンザ川から高距 5,700m で聳立する、カラコルムの名峰ラカボシ（7,788m）。B.C. 上部にはお花畑も



1981
チベット側 B.C. から仰ぎ見る、世界最高峰チョモランマ（エベレスト）（8,848m）北壁



1982
パタゴニア・パイネ山群の盟主で、パイネの角とも呼ばれる、クエルノ・デル・パイネ（2,600m）



1987
クルーズ母船からゾディアックボートに乗り換え、氷塊を避けながら氷の大地、南極大陸上陸をめざす



1993
冬のマッターホルン（4,478m）山麓で、歩きやすく圧雪し、整備されたスノートレイルをハイキング



1997
カザフスタン、南イニリチェク氷河からの天山山脈の名峰ハンテングリ（7,010m）（右奥）



2015
朝陽に輝く、ブータン最高峰で未踏の世界最高峰ガンカーブンスム（7,564m）の南東壁

アルパインツアーがご案内する 世界の主な国と地域



ヨーロッパ

ノルウェー
アイスランド
英国
スイス
オーストリア ● チロル、オーストリア・アルプス
フランス ● モンブラン、ビレネー、南フランス
イタリア ● ドロミテ、アオスタ、南イタリア
スペイン ● ビレネー、アンダルシア、カナリア諸島
ポルトガル
マルタ
キプロス



アフリカ

モロッコ
エチオピア
ケニア ● ケニア山
タンザニア ● キリマンジャロ
マダガスカル
ナミビア
南アフリカ



東アジア

日本 ● 北海道、小笠原諸島
モンゴル
中国 ● 四姑娘山、黄山、太行山、チベット自治区
韓国
台湾 ● 玉山
香港 ● シャープピーク



極東

ロシア ● サハリン、カムチャツカ



コーカサス



中東

トルコ ● カッパドキア
イラン
ヨルダン



南アジア

ネパール ● エベレスト街道 (クーンパ山群)、
アンナプルナ山群、ダウラギリ山群、ランタン谷
ブータン
インド ● カンチェンジュンガ、シッキム、ガルワール
パキスタン ● バルトロ
スリランカ

東南アジア

ベトナム ● ファンシーバン
カンボジア ● アンコール遺跡群
ラオス
マレーシア ● キナバル山
インドネシア



北極

グリーンランド
スピッツベルゲン



北米

カナダ ● カナディアンロッキー、ユーコン、プリンスエドワード島
アメリカ ● アラスカ、グランドキャニオン、グランドサークル
メキシコ



中米

グアテマラ
コスタリカ
キューバ



南米

ベネズエラ ● ギアナ高地
ペルー ● インカトレイル、ブランカ山群
ボリビア ● レアル山脈、ウユニ塩湖
アルゼンチン ● アコンカグア、パタゴニア
チリ ● アタカマ高地、イースター島、パタゴニア
エクアドル ● チンボラソ、ガラパゴス諸島



南極



南太平洋

ハワイ ● ハワイ島、カウアイ島、オアフ島
タヒチ



オセアニア

パプアニューギニア
ニュージーランド ● 南島アオリキ、マウントクック、北島
オーストラリア ● タスマニア、コジオスコ、ウルル (エアーズロック)

国立公園における宿泊施設の種別とその役割

- 1) 海外の国立公園等における高付加価値なホテルやアクティビティと連携したホテルの事例紹介
- 2) 国立公園の高付加価値・滞在型利用に向けて国立公園のホテルに求めたい要素
- 3) 山小屋の高付加価値化（上質化）
- 4) 旅行会社・利用者側の視点から、国立公園にはどのようなホテルや取り組みが必要とを感じるか

1) 海外の国立公園等における高付加価値なホテルや アクティビティと連携したホテルの事例紹介



ヨセミテ国立公園内の老舗ホテル
「アワニーホテル(The Ahwahnee)」





ケネディ元大統領など数々のVIPが宿泊



伝説のロッジ“キャンプ・デナリ”







ロッキー屈指の景観に建つレイクオハラ・ロッジ



2階建ての本館にあるラウンジ ティータイムにはケーキも



ゆったりとした時の流れー

2) 国立公園の高付加価値・滞在型利用に向けて国立公園のホテルに求めたい要素



アオラキ／マウントクック国立公園内に建つハーミテージホテル





マウントクック山麓フッカー谷ハイキング



ナムチェの最高級ロッジに宿泊



ナムチェの最高級ロッジに宿泊



絶景のロケーションに建つコンデロジ



エベレストを正面に望む絶景の朝食を

3) 山小屋の高付加価値化（上質化）



1 泊目のグレイドハウスに到着



清潔感のある部屋（相部屋利用）



プライベートルーム



清潔感のある洗面所



温水シャワーも完備



最新の！？脱水機



乾燥室



マッケンジー小屋



夕食までの間のティータイム



広々快適な山小屋での夕食



出発前にランチの用意



出発前にランチの用意



快適なマッケンジー小屋



クレイドル・マウンテン・ロッジ



クレイドルマウンテンを正面に望む



トレkkerが宿泊する一般的な自炊の山小屋



美しいフィヨルド沿いに建てられた山小屋を縦走
全長約 53 km を 3 泊 4 日で縦走する北欧の“ミルフォード・トラック”



小屋周辺はもともと放牧地　今でも周辺では牛や羊の姿が見える



清潔で快適なノルウェーの山小屋

4) 旅行会社・利用者側の視点から、国立公園にはどのようなホテルや取り組みが必要とを感じるか

① どんな国立公園が舞台になるのか、その対象は？

- 対象となる国立公園の特徴や環境を把握する
- 宿泊施設の運営方針を理解する

② どんな人が利用するのか、その対象は？

- マーケット（利用者）のカテゴリーを理解する
- 高級ハイエンド 家族向け／レジャー
自然体験 修学旅行＆研修

③ 本邦国立公園の利用価値促進と宿泊施設の関連性

→ カテゴリー

「高級ハイエンド」 「レジャー向け」
「アウトドア自然体験」

→ マーケット

「レジャー」 「家族ファミリー」
「自治体&学校」 「一般企業」

→ 利用目的

「自然体験」 「学校教育」 「企業研修」
「人材育成」 「地域貢献」

④ 国立公園の利用価値の向上

- 国立公園の特徴に合わせた宿泊施設と体験型アクティビティの分類
- ゾーン別に分類し、利用価値とプログラムを適合、共存させる

⑤ まとめ

- ・ 日本の国立公園は、四季に恵まれ、多種多様！
- ・ 「学び」「遊び」「交流」の3本柱
- ・ 各国立公園の特徴に合わせた宿泊施設の配置
- ・ 体験アクティビティの企画造成と実施
- ・ 教育の場としての利用価値促進を優先的に